

件名	東日本大震災被災地の高校が広島県を訪れ 本県生徒とともにコンサートをを行います。		
<p>特定非営利活動法人AMD Aが、3月18日(日)に、支援活動で本県生徒と交流のあった岩手県立大槌高等学校吹奏楽部を広島に招いて「AMD A東日本大震災絆コンサート」を開催します。</p> <p>このコンサートで、広島県内の公立高等学校・特別支援学校の生徒が演目の参加や運営の協力を行います。</p> <p>1 日時・場所 平成24年3月18日(日)13時～15時 中国新聞ホール 広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル 本県生徒の来場で満席が予想されるため、一般の入場受付は行っておりません。</p> <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大槌高校生徒の挨拶及び報告、同校吹奏楽部の演奏 ・広島県の生徒のステージ参加 和太鼓演奏(黒瀬高校)、チアガール部によるエール(福山誠之館高校)、吹奏楽演奏(安古市高校) ・参加者全員による合唱 ・運営協力 会場案内(祇園北高校)、司会進行・パンフレットデザイン(福山誠之館高校)、看板作成(熊野高校) <p>3 これまでの広島県の生徒と大槌高校の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月下旬～ 広島県内の公立高等学校・特別支援学校の生徒が全県的に物品等の被災地支援活動を展開 ・平成23年4月15日 福山誠之館高校と黒瀬高校の生徒及び教員が大槌高校を訪問・交流 <p>4 その他(大槌高校吹奏楽部のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月17日(土)広島到着 ・3月19日(月)午前 平和公園等見学 11:30～ 教育長訪問 午後 岡山でのコンサート <p>大槌高校への取材は、AMD Aボランティアセンター 竹谷氏、谷氏を通して行ってください。(086)-252-7700 撮影にあたっては、発表者以外の生徒の顔が写らないようご配慮ください。</p> <p>AMD A(特定非営利活動法人アマダ) 相互扶助の精神に基づき、災害や紛争発生時、医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開。世界30カ国にある支部のネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して実施。 [AMD Aのホームページ] http://amda.or.jp/</p>			
担当	課長代理 (直通)082-513-5041 e-mail:shidou3@pref.hiroshima.lg.jp	提出 年月日	平成24年3月7日

『ごあいさつ』

特定非営利活動法人 AMDA 代表 菅波 茂

東日本大震災の被災地である岩手県の大槌高校吹奏楽部の皆様による演奏会が開催されることになり感無量です。被災地の方々の元気回復は日本中の喜びです。

振り返れば、広島県教育委員会から東日本被災地の高校生の新学期の学用品を用意しようとの配慮に応えた広島県の高校生の集めた貴重な学用品を届けに、福山誠之館高校と黒瀬高校の学生さんが代表して大槌高校を訪れたのは、平成23年4月15日でした。地震の余震がまだ激しく続いていました。関係者の方々の被災地への思いやりに感謝しています。

「困ったときはお互いさま」は日本のみならず世界の良識です。日本も世界の災害被災者のために応援してきました。今回の東日本大震災の被災者のために世界中から支援が届いています。「ピンチはチャンス」とは人間の絆がますます強くなることです。

本日の演奏会が広島と東北との更なる永遠の絆を深める演奏会となることをお祈り申し上げます。

『ご挨拶』

岩手県立大槌高等学校 校長 高橋 和夫

この度はAMDA様のご好意により本校吹奏楽部をご招待頂き、広島県の高校生の皆様のご後援のもと、絆コンサートを開催できますことを大変嬉しく思います。

平成23年3月11日(金)14時46分発生のマグニチュード9.0の大地震とそれに続く大津波により沿岸地域は甚大な被害を受けました。大津波は街を破壊し多くの人たちの尊い命と生まれ育った家々を奪い去りました。高台にある本校は町内では最大級の避難所となり、ピーク時は1,000人近い町民が避難生活を送りました。

避難所となった本校では、生徒達が献身的に避難生活を支えました。炊き出しや食事の提供の手伝い、物資の運搬・仕分け・配給の手伝いなど、どれだけ生徒達に助けられたか分かりません。吹奏楽部も活動を再開したのが始業式が行われた4月20日でしたが、活動できる喜びを胸に、8年連続東北大会出場を目標に励んで参りました。惜しくも、金賞には輝いたものの目標は果たせませんでした。聴衆の心に響く、感動溢れる演奏でした。本校吹奏楽部の演奏会でのアンコール曲は「ひょっこりひょうたん島」が定番になっています。大槌湾に浮かぶひょうたん型の小さな島の蓬萊島が「ひょっこりひょうたん島」のモデルとなった島と言われています。「ひょっこりひょうたん島」の歌詞『丸い地球の水平線に 何かがずっと待っている 苦しいこともあるだろう 悲しいこともあるだろう けどぼくらは くじけない 泣くのはいやだ 笑っちゃおう 進めー』は、被災地の子どもたちの心の拠り所になっているように感じています。

今回、多くの方々のご好意とご支援により広島県を訪問し、交流と演奏をする機会を頂戴し、心からお礼申し上げます。広島県の多くの人たちと絆が結ばれたことを嬉しく思うと同時に、双方の明るい未来に繋がることをご祈念申し上げお礼の挨拶とさせていただきます。

AMDA東日本大震災

絆コンサート



平成24年

3月18日(日)

13:00開演 12:30開場

中国新聞ホール

〒730-8677 広島県広島市中区土橋町7-1 中国新聞ビル7F
Tel.082-236-2455

主催：特定非営利活動法人アムダ (AMDA)

主演：岩手県立大槌高等学校吹奏楽部

協力：広島県の高等学校・特別支援学校の生徒のみなさん

表紙 広島県立福山誠之館高等学校美術部制作

AMDA東日本大震災・絆コンサート

第 I 部

1 和太鼓演奏

広島県立黒瀬高等学校
和太鼓部 養訓太鼓 (やなぐにだいこ)

アフリカの日本人 作曲 吉原達也

ガッツンコロコロ 作曲 土井裕文

2 お礼の挨拶 & 報告 岩手県立大槌高等学校 代表 基 隆裕

3 応援のエール 広島県立福山誠之館高等学校 チアガール部

BELIEVE 【作詞・作曲】 杉本竜一

- | | |
|---|--|
| 1. たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならずぼくが そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる | 2. もしも誰かが 君のそばで
泣き出しそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球を つつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが
大空に はじけて耀 (ひか) るだろう
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる
いま未来の 扉を開けるとき
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる |
|---|--|

<運営スタッフ>

会場看板 広島県立熊野高等学校書道部 進行運営 広島県立祇園北高等学校生徒会
全体司会 広島県立福山誠之館高等学校放送部 広島県立福山誠之館高等学校生徒会

第 II 部

1 吹奏楽部演奏

広島県立安古市高等学校 吹奏楽部

私のお気に入り My Favorite Things
作曲 リチャード・ロジャース 編曲 宮川彬良

天の光 作曲 スティーブン・ライニキー

情熱大陸 作曲 葉加瀬太郎 編曲 遠藤幸夫

2 吹奏楽部演奏

岩手県立大槌高等学校 吹奏楽部

マル・マル・モリ・モリ!
作曲 宮下浩司 編曲 小島里美

ザ・ブルーハーツ・メドレー
作曲 甲本ヒロト・真島昌利 編集 小島里美

涙そうそう 作曲 BEGIN 編曲 山里佐和子

故郷の空 in Swing スコットランド民謡 編曲 福田洋介

3 合同演奏

岩手県立大槌高等学校 吹奏楽部
広島県立安古市高等学校 吹奏楽部

Make Her Mine 作曲 E.Lee 編曲 郷間幹男

ニュー・シネマ・パラダイス
作曲 A&E. モリコーネ 編曲 大島ミチル

明日があるさ 作曲 中村八大 編曲 山下国俊

4 全員合唱

参加者全員

《吹奏楽そして合唱のための》 Believe
作曲 杉本竜一 編曲 八木澤教司